

里親養育のジレンマ その理解と支援

2018.11.21(水)
10:30~16:40

神戸市立婦人会館 5階 さくら

神戸市中央区橘通 3丁目 4-1
(神戸市立総合福祉センターと同じ建物です)

■プログラム(予定)

- 10:00 受付
- 10:30 **第1部** 「今求められる里親養育と
今可能な里親委託
～過渡期であることと2重性を意識しながら～」
講師 宮島 清 氏
- 12:00 *休憩* 昼食 会場で昼食をとっていただけます
- 13:00 **第2部** 里親養育のジレンマ
里親の養育経験と事例報告
- 14:00 *休憩*
- 14:15 グループに分かれての話し合い
- 15:45 *休憩*
- 16:00 話し合いの報告・まとめ
- 16:40 研修終了予定
- 17:30~19:00 交流会 (3000円程度 当日会場でお支払い下さい)

■対象:里親支援機関職員、里親支援専門相談員、乳児院・
児童養護施設職員、児童相談所、関係機関職員等

■定員:90名(先着順)

■資料代:2000円(当日会場でお支払い下さい)

申込みメ切り 11月14日(水)

里親制度は、家庭という私的な場に子どもを迎える公的な養育です。そこから生じるさまざまなジレンマを理解することが、支援には必要です。

第1部では、日本社会福祉事業大学専門職大学院教授の宮島清先生を迎えて、ご講演をいただきます。第2部は、里親の養育経験と事例報告、グループに分かれての話し合いです。

■講師 宮島 清 氏 プロフィール

日本社会福祉事業大学専門職大学院 教授

専門は、子ども家庭福祉とソーシャルワーク。特に児童虐待が発生した家族・援助を必要とする家族への支援、里親養育や児童福祉施設の援助とその仕組み関することに取り組む。社会福祉士。

1981年 埼玉県庁入庁。福祉職として、児童相談所、同一時保護所、知的障害児施設、県本庁児童福祉課等に勤務する。2005年3月 所沢児童相談所地域相談担当課長を最後に退職。同年4月から実務者教員として実践者の教育・訓練に携わる。

著書:「子どものための里親委託・養育縁組の支援」(共編著) 明石書店、「社会的養護テキストシリーズ」1~4巻 福村出版(共編著)、他多数。



裏面申込み用紙にご記入いただき、お電話・ファックス・E-MAIL でお申込みください
定員に達し、受講いただけない場合のみ、ご連絡をいたします。

■主催 公益社団法人 家庭養護促進協会

〒650-0016 神戸市中央区橘通 3-4-1 神戸市総合福祉センター2階
TEL 078-341-5046 FAX 078-341-1096
E-MAIL ainote@kjd.biglobe.ne.jp
<http://ainote.main.jp/wp/> (HPからもお申込みいただけます)

■会場案内 神戸市立婦人会館

JR 神戸駅より北へ徒歩7分
神戸高速鉄道高速神戸駅より北へ徒歩3分
神戸市営地下鉄大倉山駅より南へ徒歩5分



送信先: 家庭養護促進協会 神戸事務所 FAX専用 (078) 341-1096

【第6回 里親支援にかかわる WORKER のための研修 IN 神戸 申込み用紙 2018/11/21】

ふりがな 参加者氏名	所属と職種
連絡先 住所 〒	
TEL	FAX
★17:30～の交流会に <input type="checkbox"/>出席 ・<input type="checkbox"/>欠席	
交流会のご案内 研修会場近隣の飲食店にて交流会を予定 参加は任意です。 時間:17:30～19:00(予定) 金額:3000円程度 当日会場にてお支払ください。	
受講にあたって配慮が必要な方は、その配慮の内容を、可能な限り具体的にご記入ください。	

*定員に達し、受講していただけない場合のみ、ご連絡をいたします。当日直接ご来場ください。

*本研修の申込みについてお預かりした個人情報については、受講に必要な事務作業と資料作成、次回研修案内の目的にのみ使用します。

公益社団法人 家庭養護促進協会 <http://ainote.main.jp/wp/>

民間の里親開拓機関として1960年に設立。1962年より神戸事務所では、神戸新聞の紙面「あなたの愛の手を」とラジオ関西の番組「里親探しの時間」で里親の必要な子どもを紹介し、その子どもの里親を求める「愛の手運動」を続け、1964年からは大阪事務所毎日新聞の協力を得て同じ「愛の手運動」を続けてきた。この愛の手運動を通じて迎えられた子どもたちは、2450人になり、そのうち74%の1819人が養子縁組を完了している。(2018年3月末現在)。

里親を求める運動として、里親希望者への面接、養育希望者への研修、家庭調査、里親委託後の訪問、アフターケア。里親家庭への支援として、里親・養親からの相談援助、里親サロンの開設、真実告知や養子縁組等の研修、里親家庭対象のキャンプなどの事業を行っている。

機関誌「育てる」、四季報「はーもにい」の発行、里親や養子に関する図書出版、里親運動に関する講演会、里親による出前講座等の広報活動も展開している。